

プレートを導入してはどうか。

**答** 導入の効果については、市民の市政に対する関心と本市への愛着心が高まり、今後、観光や地域振興への大きな弾みとなることも期待されることから、導入に向けて検討を進めていきたい。

## 公明党

**県立図書館の再整備問題について**

**問** 県立図書館の再整備後の所在地は県都長崎市がふさわしいと考えるが、本市への存続へ向けた考え方や今後の県への働きかけについて伺いたい。また、県庁跡地活用の考えはないか。

**答** 市としては、時津町、長与町とともに本市への存続を強く求める要望をしている。そのほか、広報紙やホームページなどを通じ存続の必要性を市民へ周知を図っている。また経済界や大学とも連携し、県立図書館の役割、機能を発揮させるためには本市に存続させることで、県民全体の利益につながるという点を県に訴えていきたい。建設用地については、市役所建て替え問題や駅周辺再整備の動きなども含めて県と協議したい。

**農業法人等への障害者雇用の推進について**

**問** 障害者は、農業に従事することで心身の回復やリハビリ効果などが期待される一方、営農者も農業従事者の確保ができ耕作放棄地の解消にもつながる。新たな就労支援のモデルとして、農業分野における障害者雇用の推進について取り組む考えはないか。

**答** 現在、市内には農作業を作業種目とした障害福祉サービス事業所が数箇所あり、雇用機会の拡大につながっている。今年度、障害者雇用開拓のため専任職員を配置し、雇用促進を図る障害者雇用開拓事業を開始した。この中で、農業法人等の経営者に呼びかけを行いながら、障害者雇用の実現に向けた努力したい。

**南大浦地区拠点地域再生事業の進捗状況について**

**問** 本事業は南大浦地区拠点地域において居住環境の整備と防災性の向上を目的とする重点事業として平成17年度より事業着手し、生活道路の整備や、民間活力による老朽建築物の建て替え促進を図る事業であるが、現在の進捗状況と問題点について伺いたい。

**答** 生活道路整備の進捗率は平成22年

度末で25・5%である。老朽化した市場の共同建て替えについては、一部の権利者の同意が得られていないことや建設を担う事業協力が決まらないことから実現していない。今後はより実現性の高い事業計画の策定に向け、地元の利用者、地域の皆様とともに努力していきたい。

## 自由民主党

**仕事と子育ての両立について**

**問** 病児・病後児保育を行う保育施設について、その数、保育収容人数が十分ニーズに答えられていないと感じているが、現状と今後の方向性を伺いたい。また、仕事と子育ての両立におけるさまざまな問題に対し、市としてどのような支援をしているか。

**答** 病児・病後児保育施設の年間利用延べ人数は年々増加しており、長崎市次世代育成支援行動計画において、施設数を平成26年度までに現在の4か所から6か所に増やす計画としている。また、地域の中で子育ての助け合いを行うファミリー・サポート・センターの運営により子どもの預かりなどの支援を行っている。

## 気走会

**平成22年度包括外部監査の結果報告への対応について**

**問** 土地価格が下落傾向にあり、用地先行取得の経済的メリットはほとんどなくなっている。このような中、土地開発公社の存在意義が急速に薄れ、解散に踏み切る自治体も増えているが、本市においてはいつまでに解散するか伺いたい。

**答** 現在、公社は新たな土地の取得は行わず、保有地の管理と処分を主な業務としている。包括外部監査の結果報告において、公社保有地はより早い段階で解消し、できるだけ速やかに公社を解散すべきであるという指摘を受け、平成24年度中に公社保有地をすべて土地取得特別会計で取得し、同年度末には公社を解散する予定としている。

## 長崎みらいの会

**県庁舎移転による中心商店街に与える経済的影響について**

**問** 県庁舎移転による、中心商店街に与える経済的影響はどれくらいあるのか、具体的な数字をもって示してほしい。